

『心理測定尺度集VI』初版第1刷に誤りがございました。お詫びして訂正致します。

頁	場所	誤	正
82	下から8行目	「在宅を機能する不登校傾向」については2項目で構成されており、信頼係数がやや低い。	「在宅を希望する不登校傾向」については3項目で構成されており、信頼係数がやや低い。
85	下から9行目	・学校に行かず、家で友達と遊んでいたい	・学校に行かず、家で友達と遊んでいたい※
86	下から1行目	注) ●は逆転項目。実施時には取り除く必要がある。	注) 実施の際には逆転項目を示す●を取り除く必要がある。※は「遊び・非行に関連する不登校傾向」と「在宅を希望する不登校傾向」の両因子に負荷する項目である。
284	下から4行目	著作者連絡先 加曽利岳美 ルーテル学院大学総合人間学部臨床心理学科 〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-20	著作者連絡先 加曽利岳美 文京学院大学人間学部心理学科 〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196